

桧原苑だより

第122号

編集・発行
指定介護老人福祉施設
桧 原 苑

東京都西多摩郡檜原村 5650-8
TEL:042-598-0333
FAX:042-598-0334



ご挨拶



施設長
渡邊 昇

平素より特別養護老人ホーム桧原苑のご利用者及びご家族、そして地域や関係機関の皆様におかれましては、暖かいご支援と経営へのご理解ご協力を賜り、心からの感謝と御礼を申し上げます。

昨年度は、新型コロナの分類が二類から五類に引き下げられ、面会ではマスク着用や時間制限はありますが、居室での面会が再開され、また外出行事なども再開され、徐々にコロナ前の生活に戻って参りました。令和六年度は、ご利用者の普通の生活（尊厳）に着目し、更に面会制限を解除していくことで、ご家族や地域の皆様との交流を深め、心のこもった介護と看護に繋げて参りたいと考えております。

令和六年度事業計画では、

ユニットケアの理念である『暮らしの継続（ご利用者本位のケア）』を念頭に、職員全員が『自分や自分の家族が利用したい』施設を目指す中で、いくつかの重点課題を抽出し取り組んでいこうと考えております。

① 高齢者虐待や不適切ケアの取り組みが明確化（算定要件）され、人権意識や尊厳を守る取り組み方法が問われています。各種研修やマニュアルを含む資料配布を行うことで伝えても、職員個々に伝わっていないことが多く、コミュニケーション力（伝えていても、伝わっていない）が課題だと考えています。人の心に届く伝え方を職員と一緒に学び、風通しの良い職場（松原苑）を再構築していきたいと考えております。

※自分の心をそのまま言葉にせず、相手の心を想像して、相手のメリットとの一致点を探し伝えることで伝わる。

② 松原苑は「終の棲家」となるべく、入居した日から「看取りケア」を念頭に、心地良い空間創り、

「寄り添うケア」個人として尊重するケア」を提供できたかと考えております。アンケートやご家族からの生活状況や、各職種のアセスメントからご利用者の心を想像し、ご家族と共に「松原苑が大切にしている看取りケア」を確立していきたいと思えます。

③ 人材不足などから安定した経営を図るため、生産性向上の取り組みが重要となっています。特に「時間（コスト）」の使い方に着目した「ムリ・ムダ・ムラ」が無いかを検証し、業務改善に努めて参りたいと考えております。また、特定の職員しかできない業務や職員によるサービスの質のばらつきを解消するため、業務の標準化（見える化・リスク共有）に努めて参ります。このことは、ご利用者の安全及び安心、職員の確保や定着、業務の効率化にも繋がっていきます。

コミュニケーションは、よくキャッチボールに例えられています。相手の取りやすいところにボールを投げ、そのボールをしつ

かり自分に投げ返してもらうことを意識する。相手がボールを投げようとしているのに、捕ろうとしない。捕っても投げない。そんな職場ではなく、互いに声を掛け合い、気持ちよくキャッチボールができる心理的安全性の高い職場創りに、引き続き全力で取り組んで参りたいと考えています。

ご利用者の尊厳が守られ、安心と安全の中で、虐待や不適切なケアを発生させない施設風土づくりに努めますので、今後共ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

二月三日、松原苑で節分を行いました。最近では「節分」と聞くと、恵方巻きや創作豆料理など、食に対するイメージが先行しているように感じます。

松原苑の節分はご利用者の生活するユニットを回り、最後に施設玄関前にて鬼払いを行います。

ご利用者の反応も様々で、鬼に驚きながらも豆を投げる方もいます。鬼に握手を求める方もいます。今後も喜んでいただけるよう続けていきたいと思います。

（広報委員 T・D）



桜・桜ユニット おでん

苑内の行事も次々と再開することができているなか、まだ復活させていない冬の行事とは何かを考え、二月二十一日に桜・桜ユニット合同で「おでん屋」を開催しました。大根や煮卵、しらたき、はんぺん、ちくわ等、おでんには欠かせない食材を取り道に寄って行く、おでん屋をイメージしたBGMを流して雰囲気を作りました。



ご利用者は懐かしさを感じながら「ここんところ寒かったから温まっていいねえ。」やわらかくておいしいよ。」と喜ばれていました。また、お酒を嗜まれながらおでんを召し上がるご利用者もいらっしゃいました。三年前と変わららず、煮卵が好評で、どの食材よりも無くなるのが早かったです。

（広報委員T・O）

祝 初級試験合格

松原苑では現在九名の外国人技能実習・特定技能の外国人が在籍しています。

この度、外国人技能実習生（三期生）の二名が介護技能実習評価試験初級を受験し、見事合格することができました。初級試験は学科試験と実技試験があり、介護全般の必須業務や関連業務をはじめ、安全衛生業務について習得できているか評価されます。また、日本語の能力も評価基準にあるため、他職員に教わりながら、日々の積み重ねで習得しています。

お二人は、松原苑において貴重な人材です。これからの成長を期待しております。

（広報委員T・D）



ラーメン会& 誕生日会

桃楓ユニットで、三月のお誕生日会・ラーメン会を開催しました。今月誕生日のご利用者二名で記念撮影し、お祝いすることが出来ました。

今回はご利用者のリクエストで『担々麵』を提供しました。本格的な担々麵を再現し、全員に召し上がっていただき、とても美味しそうに食べていました。

ご利用者からは「とても美味しかった」「ラーメンは滅多に食べられないから嬉しかった」「美味しかったよ、ありがとう」



ふ〜
ふ〜



う〜ん
うまいねえ〜



と喜んでいただき、楽しい時間を過ごすことが出来ました。またご利用者が普段食べることができないものを作りたいと思います。

(広報委員T・S)

いちご狩り



暖かくなり桜が咲くなか、桃ユニットのご利用者三名と狭山ベリーランドへ「いちご狩り」に行つて参りました。ビニールハウス内は牧場並みに広く、高設栽培でしたが二段に構成されており、車いすのご利用者も安心して苺を摘み取ることができました。摘み取るのが難しい時は職員が傍で支えながら召し上がっていただきました。

「紅ほつぺ」や「章姫」といった品種があり、陽光に照らされて赤く輝いていましたので、食べる前からおいしいことを感じとれました。

ご利用者が実際に召し上がるほど。口から果汁が溢れ出るほど



瑞々しく、程よい酸味が広がつて「すごく良かったよ」「夢中で食べちゃった。」と満足されていました。

最後は広場にある巨大な苺の像の前で記念写真を撮りました。六月ごろの季節の変わり目にはブルーベリー狩りが始まりますので、そちらもご利用者に楽しんでもいただける機会を設けたいと思いました。

(広報委員T・O)



桜の花見

春らしい天候に恵まれ久しぶりの外出に、皆様大変喜ばれていました。笑顔がとても素敵でした。

ご利用者からは「久しぶりに外の景色が見れてよかったよ」「ちょうど桜が咲いててきれいだった」「春を感じれてよかった」と、とても喜んでいただきました。

(広報委員T・S)



ユニットの 取り組み発表



二月二十八日の職員全体会議で、令和五年度、ユニットの取り組みについての発表を行いました。今回は松・桐ユニットの『ユマニチュード』^{※1}と桃・楓ユニットの『タクティールケア』^{※2}の発表で、どちらのユニットの取り組み内容も、直接ご利用者とのコミュニケーションが重要となるケアであり、誰でも簡単に出来るケアなので是非、他のユニットでも取り入れてほしいという願いも込めて、発表に向け準備をしてきました。

一年間取り組み内容を、職員一人ひとりにどう伝えたら理解してもらえるか、またパワーポイントを活用し見やすく分かりやすい図や色合い、字の大きさなどを考えながら打ち合わせを重ねました。発表では最初に、それぞれのユニットの取り組みに至った経緯や、取り組んだケアの詳しい説明を行い、ご利用者に対して一年間

ケアを行った際の変化など、写真を使い分かりやすく報告しました。まとめではそれぞれユニットの取り組みを行った中で、ご利用者に起きた変化で職員が喜びを感じたことや、「もつとこうしたいほうがいい」など反省点も含め、前向きな意見が出ていました。

こうした他のユニットの取り組みを聞く機会をもっと増やし、今後のユニットケアの参考にし、より良いケアが出来るようにしていきたいと思いました。

(広報委員S・O)

※1 ユマニチュード
認知症の人に対するケアの方法で、知覚・聴覚・言語を用いたコミュニケーションに基づく、人間らしさを尊重するための技法。

※2 タクティールケア
肌と肌との触れ合いによるコミュニケーションを大切にするタッチケア。



新入職員紹介



関口 礼子

★生まれ月：八月

★趣味：食べ歩き・旅

★好きな芸能人：鳥谷 敬

★ひとこと：ご利用者に喜んでいただける、寄り添う食事サポートに努めたいです。宜しくお願い致します。



エル フィンディ ノバリア

★生まれ月：十一月

★趣味：写真・読書・刺繍

★ひとこと：日本にいることに喜びを感じます。仕事も遊びも頑張ります。



益子 美由樹

★生まれ月：二月

★趣味：特技：お菓子作り・バドミントン

★ひとこと：一人ひとりに寄り添い、きめ細やかなケアができるよう頑張ります。よろしくお願ひ致します。

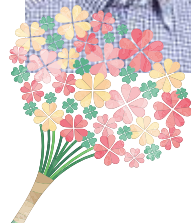


ティアラ ヘラワティ

★生まれ月：十二月

★趣味：映画鑑賞

★ひとこと：介護の仕事では皆様の協力を得て頑張っています。



この度、介護支援専門員一名、介護福祉士一名。計二名の職員が資格を取得しました。

介護支援専門員

・小南 敦子さん

介護福祉士

・渡邊 圭治さん

おめでとうございます。



寄付寄贈

◎宇田 範子 様

◎井上 百合子 様

◎鈴木 泰正 様

◎小塩 徳栄 様

ありがとうございました。

編集後記

寒い寒い冬を乗り切り、やっと春がやってきました。私にとって春というと、金魚のイメージが強く残っています。小さな頃から金魚が大好きで、学生時代は十数種類の金魚を飼育していました。

冬の厳しい寒さを経験した金魚は、春が訪れ水温が十八度を超えると、オスがメスを追いかける繁殖行動をし始めます。

自然界では水草などに産卵をしますが、飼育下では受精率を上げるため、産卵しやすい大潮の日人工授精をしていました。そうして生まれた稚魚たちはとても可愛く、命の誕生に毎年感動していたのを今でも覚えています。

まだまだ書き足りないのですが、この思いを誰かと共有したい広報委員より

